

■男だぜ、ラインメンー夏に鍛える②

パンケーキズー北海道大

好天に恵まれた7月24日、札幌市北区の北海道大学構内にある北24条グラウンドで北海道大アメフト部の練習が始まった。今年の北海道大は、選手が16人の1年生を加えて51人、スタッフが1年生6人を含む16人の総勢67人。この日は、8月28日に開幕する道学生選手権のプログラム用にユニホーム姿の集合写真を撮影し、練習着に着替えてウォームアップを開始した。この日の札幌の最高気温は23.5度。平年より2.9度低いものの、防具を付けた選手たちには夏の日差しが厳しくそそいだ。

ポジション別練習が始まった。オフンスライン（OL）のグループには選手8人とスタッフ2人が集まった。選手たちのヘルメットには、脳しんとう対策の練習用防具「ガーディアン」がかぶせてある。父母会の支援で今年から導入したもの。ハードブロックが信条のOLの面々には欠かせない新兵器だ。リーダーの坂口大晴（4年、兵庫・西宮東高）の号令で、エアダミーを使ったフットワークの確認、ダブルチームブロック、パスポテクションと進む。RBとDL、LBを付けてインサイドのランプレーの練習も繰り返し、「ナイスブロック」の声が上がった。

今年のOLは、4年生が171センチ、95キロの坂口と167センチ、99キロの新藤源大（奈良・奈良学園高）の2人、3年生が180センチ、91キロで昨年のベストイレブンに選ばれた吉田晴太（札幌北高）ら3人、2年生が高校の経験者を含む2人、これに1年生3人を加えて計10人。坂口リーダーは「1年生を戦力に育てないと、カツカツになる」という。

自慢のラン攻撃を支えるOL陣。坂口が「計算され、細かなブロックング」「フィニッシュまでやりきる」「笛が鳴るまで泥臭く」と北海道大カラーを紹介してくれた。そして「コミュニケーション力とアジャスト力が鍵。5人でカバーし合うことも多い」と付け加えた。東北大に勝利した6月の仙台グリーンボウル、ライバルを下した7月10日の北海学園大戦。今春のオープン戦は、そんなOL陣が大きな手ごたえをつかんだ。坂口は「北海学園大戦はラインの勝利だった。ラインがチームを引っ張った」と満足そうに振り返った。

8月28日から、最大の目標の道学生選手権が始まる。3年ぶりの優勝と、その先の全日本大学選手権トーナメント（甲子園ボウル）へ、OL陣の晴れ舞台が待つ。坂口リーダーは「もっと個人のサイズアップとスキルアップを。負けない自信が付くまで練習をやりきる」と宣言した。最後にOL陣の愛称を聞いた。しばらく考えてから坂口リーダーは「パンケーキズです」と胸を張っ

た。米プロフットボールのNFLでは、相手選手を仰向けにさせる「青天ブロック」を「パンケーキブロック」というそう。笑顔の向こうに自信がのぞいた。



ダブルチームブロックの練習を繰り返す北海道大オフェンスラインの選手たち